

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場会社名 川澄化学工業  
 コード番号 7703 URL <http://www.kawasumi.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 川野 幸博  
 (氏名) 森山 大輔  
 配当支払開始予定日

上場取引所 東  
 TEL 03-3763-1153  
 平成21年12月14日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	15,242	0.8	1,528	63.9	1,336	25.2	799	41.3
21年3月期第2四半期	15,117	—	932	—	1,067	—	565	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	34.92	—
21年3月期第2四半期	24.70	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	39,530	30,348	74.7	1,290.67
21年3月期	39,222	29,729	73.7	1,263.92

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 29,533百万円 21年3月期 28,924百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	7.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	2.1	2,300	1.6	2,200	△5.9	1,300	5.8	56.81

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 —社 (社名 ) 除外 —社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	22,948,003株	21年3月期	22,948,003株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	65,608株	21年3月期	63,483株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	22,883,170株	21年3月期第2四半期	22,891,317株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、「変革は日常の中にあり、その成果が進化への道筋となる」とのキーワードのもと、本年度の会社指針に「進化」を掲げ、急激に変化する経営環境に常に適応し続けることができる「企業体質」「業務プロセス」「事業構造」の進化に努めております。

当第2四半期連結累計期間においては、前年度に引き続き、収益重視の経営体制のもと、安定品質を維持・推進しながら、生産サイドでの製造原価低減活動などに努めてまいりました。この経営成績については以下のとおりです。

#### <売上高>

売上高は、血液バッグなどが順調に推移したことにより、前年同期に比べ1億25百万円増の152億42百万円（前年同期比0.8%増）となりました。国内・海外別の売上高につきましては、国内売上高は、前年同期に比べ2億60百万円増の113億46百万円（同2.4%増）、海外売上高は、前年同期に比べ1億35百万円減の38億95百万円（同3.4%減）となりました。

#### <売上総利益・営業利益>

売上高の増加に加え、製造コストの削減効果やパーツ安の影響等により、売上原価率が前年同期に比べ4.3ポイント改善し、64.4%になりました。その結果、売上総利益は、前年同期に比べ6億95百万円増の54億21百万円（同14.7%増）となりました。

また、研究開発費および販売物流システムの導入にともなうシステム関連費用が増加したことにより、販売費及び一般管理費は、前年同期に比べ1億円増の38億92百万円（同2.6%増）となりました。

これにより、営業利益は、前年同期に比べ5億95百万円増の15億28百万円（同63.9%増）となりました。

#### <経常利益>

外貨建資産が急激なドル安の影響を受けたため、為替差損を2億55百万円計上したものの、営業利益が増加したことにより、前年同期に比べ2億68百万円増の13億36百万円（同25.2%増）となりました。

#### <四半期純利益>

その結果、四半期純利益は、前年同期に比べ2億33百万円増の7億99百万円（同41.3%増）となりました。

#### <部門別売上高>

##### ①人工透析関連部門

ほぼ前年同期並みに推移した結果、当部門の売上高は、前年同期に比べ33百万円減の59億31百万円（同0.6%減）となりました。

##### ②血液関連部門

国内・海外ともに血液バッグが順調に推移いたしました。この結果、当部門の売上高は、前年同期に比べ2億71百万円増の55億20百万円（同5.2%増）となりました。

##### ③循環器関連部門

ほぼ前年同期並みに推移した結果、当部門の売上高は、前年同期に比べ27百万円減の6億53百万円（同4.1%減）となりました。

##### ④輸液他関連部門

OEM供給先による在庫調整の影響を受け、米国向け輸液セットの売上は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は、前年同期に比べ84百万円減の31億38百万円（同2.6%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増の395億30百万円となりました。

流動資産は、主として現金及び預金の減少により、11億89百万円減の232億37百万円となりました。

固定資産は、主として建設仮勘定の増加により、14億97百万円増の162億92百万円となりました。

流動負債は、主として未払法人税等の減少により、66百万円減の64億55百万円となりました。

固定負債は、主として長期借入金の減少により、2億44百万円減の27億26百万円となりました。

純資産は、主として利益剰余金の増加により、6億19百万円増の303億48百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は74.7%となり、前連結会計年度末と比べ1.0ポイント増加しました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ16億47百万円減の86億6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ2億29百万円減の17億46百万円となりました。主な内容は、税金等調整前四半期純利益が13億99百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出したキャッシュ・フローは、前年同期に比べ13億7百万円増の24億12百万円となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出が21億59百万円であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出したキャッシュ・フローは、前年同期に比べ48百万円減の4億63百万円となりました。主な内容は、配当金の支払が1億71百万円であります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月19日付当社「平成21年3月期決算短信」にて発表致しました平成22年3月期の業績予想を修正しております。詳細は、平成21年10月23日に別途開示致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

従来、製品・商品・仕掛品については、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更しております。この変更は、新しい販売物流システムを導入し、日々の在庫金額を管理することにより、より適正な期間損益計算を行なうために行なったものであります。この変更による営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,086	10,267
受取手形及び売掛金	7,845	7,530
有価証券	50	50
商品及び製品	2,554	2,680
仕掛品	690	745
原材料及び貯蔵品	1,859	2,040
その他	1,151	1,113
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,237	24,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,444	4,896
機械装置及び運搬具（純額）	3,019	3,128
その他（純額）	3,604	2,784
有形固定資産合計	12,068	10,808
無形固定資産		
特許等実施権	383	433
その他	393	304
無形固定資産合計	776	737
投資その他の資産		
投資有価証券	2,294	1,936
その他	1,195	1,353
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	3,448	3,249
固定資産合計	16,292	14,795
資産合計	39,530	39,222
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,764	2,835
短期借入金	26	27
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	413	588
引当金	278	364
契約履行補償引当金	618	656
その他	1,853	1,550
流動負債合計	6,455	6,521
固定負債		
長期借入金	250	500
退職給付引当金	1,802	1,779
負ののれん	84	96
その他	589	595
固定負債合計	2,726	2,971
負債合計	9,182	9,493

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,642	6,642
資本剰余金	6,462	6,462
利益剰余金	18,772	18,144
自己株式	△47	△46
株主資本合計	31,828	31,202
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7	△183
繰延ヘッジ損益	△1	△8
為替換算調整勘定	△2,286	△2,087
評価・換算差額等合計	△2,295	△2,278
少数株主持分	815	805
純資産合計	30,348	29,729
負債純資産合計	39,530	39,222

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	15,117	15,242
売上原価	10,391	9,821
売上総利益	4,725	5,421
販売費及び一般管理費	3,792	3,892
営業利益	932	1,528
営業外収益		
受取利息	29	8
受取配当金	15	12
負ののれん償却額	5	11
持分法による投資利益	—	3
為替差益	24	—
作業くず売却収入	—	26
その他	143	46
営業外収益合計	217	109
営業外費用		
支払利息	14	10
持分法による投資損失	7	—
減価償却費	23	22
為替差損	—	255
その他	36	13
営業外費用合計	83	301
経常利益	1,067	1,336
特別利益		
固定資産売却益	4	1
貸倒引当金戻入額	2	—
受取保険金	—	86
契約履行補償引当金戻入益	—	37
特別利益合計	7	125
特別損失		
固定資産除売却損	4	50
投資有価証券評価損	101	—
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	5	10
特別損失合計	112	61
税金等調整前四半期純利益	962	1,399
法人税、住民税及び事業税	478	398
過年度法人税等	—	47
法人税等調整額	△100	136
法人税等合計	377	583
少数株主利益	18	17
四半期純利益	565	799

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	962	1,399
減価償却費	916	913
有形固定資産除却損	4	50
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	△1
有価証券評価損益(△は益)	101	—
負ののれん償却額	△5	△11
引当金の増減額(△は減少)	20	△87
受取利息及び受取配当金	△44	△21
支払利息	15	10
為替差損益(△は益)	△9	126
持分法による投資損益(△は益)	7	△3
売上債権の増減額(△は増加)	△559	△345
たな卸資産の増減額(△は増加)	283	315
仕入債務の増減額(△は減少)	317	△5
その他	22	△66
小計	2,026	2,275
利息及び配当金の受取額	145	40
利息の支払額	△16	△11
法人税等の支払額	△179	△614
法人税等の還付額	—	56
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,976	1,746
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△200	△320
定期預金の払戻による収入	429	240
有形固定資産の取得による支出	△691	△2,159
無形固定資産の取得による支出	△358	△118
有形固定資産の売却による収入	4	1
子会社株式の追加取得による支出	△290	—
投資有価証券の取得による支出	—	△63
投資有価証券の売却による収入	—	6
その他	△0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,104	△2,412
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△250	△250
自己株式の増減額(△は増加)	△0	△1
配当金の支払額	△161	△171
少数株主への配当金の支払額	△3	△2
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△97	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△511	△463
現金及び現金同等物に係る換算差額	△120	△131
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	239	△1,260
現金及び現金同等物の期首残高	10,014	9,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,253	8,606



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結累計期間において、当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の医薬品および医療機器を製造販売しているため事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	東南アジ ア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,023	834	259	15,117	—	15,117
(2) セグメント間の内部売上高	228	—	4,504	4,733	(4,733)	—
計	14,251	834	4,764	19,850	(4,733)	15,117
営業利益	756	67	23	848	84	932

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 米 州……………米 国

(2) 東南アジア……………タ イ

3. 会計処理の方法の変更

（棚卸資産の評価に関する会計基準）

前第2四半期決算短信の4. その他（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更②に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更にもとない、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業利益が50百万円減少しております。

（連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い）

前第2四半期決算短信の4. その他（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更③に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。この変更にもとない、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が東南アジアで38百万円減少しております。

4. 追加情報

（有形固定資産の耐用年数の変更）

前第2四半期決算短信の追加情報に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、当社は、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況などを見直した結果、第1四半期連結会計期間から機械装置の耐用年数を変更しております。これにより、「日本」の営業利益が24百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	東南アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	14,332	675	235	15,242	—	15,242
(2) セグメント間の内部売上高	460	—	4,540	5,000	(5,000)	—
計	14,792	675	4,775	20,243	(5,000)	15,242
営業利益	1,075	53	222	1,351	176	1,528

- (注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。  
 (1) 米 州……………米 国  
 (2) 東南アジア……………タ イ

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	米州	欧州	アジア・オセ アニア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	2,461	709	713	146	4,030
II 連結売上高 (百万円)					15,117
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合 (%)	16.3	4.7	4.7	1.0	26.7

- (注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。  
 (1) 米 州……………米国、メキシコ 他  
 (2) 欧 州……………ドイツ、スペイン 他  
 (3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他  
 (4) そ の 他……………トルコ、サウジアラビア 他  
 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	米州	欧州	アジア・オセ アニア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	2,305	662	768	159	3,895
II 連結売上高 (百万円)					15,242
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合 (%)	15.1	4.4	5.0	1.1	25.6

- (注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。  
 (1) 米 州……………米国、メキシコ 他  
 (2) 欧 州……………ドイツ、スペイン 他  
 (3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他  
 (4) そ の 他……………トルコ、サウジアラビア 他  
 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
 該当事項はありません。